

中学校授業マイスター研修講座(中学校英語科)

授業マイスター 松崎中学校 教諭 西本 大和

担当指導主事：村上 大介

キーワード：小中連携 学力向上 帯活動 自己表現活動

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
2月4日（火）	松崎中学校 西本 大和 教諭	松崎中学校 教室棟4階英語教室 ・公開授業 ・事後研修会	公開授業（第2学年） 「Lesson8 India, My Country」 事後研修会 「小中連携に向けて」

2 主な内容

(1) 公開授業（第2学年）

伊丹市中学校英語科全体で取り組んでいる「帯活動」（今回のテーマは「オススメ映画の紹介」スピーチ）、「自己表現活動」を取り入れた授業実践を行った。

① 「帯活動」

ア 話し手

- (ア) 作成した英文をスピーチ形式で発表する。
- (イ) 聞き手からの質問に英語を用いて即興で答える。

イ 聞き手

- (ア) 話し手のスピーチを聞いた後、評価をする。
- (イ) スピーチ内容に関する質問文を作成する。

② 「自己表現活動」（オリジナル教科書）

- ア 教科書本文の続き（オリジナルストーリー）を作成する。
- イ 作成した英文をペアで発表する。

(2) 事後研修会

- ① 公開授業に関する意見交換を行った。
- ② 小学校英語、中学校英語の取組実践内容を共有した。
- ③ 今後の小中連携のあり方について話し合った。



3 成果と課題

(1) 成果

- ① 小学校教員に中学校英語の実態を伝えることができた。
- ② 市内中学校英語科の研究テーマに沿った取組実践例を提示することができた。
- ③ 事後研修会を通して小学校英語、中学校英語の観点から議論を深め、交流を深めることができた。
- ④ 英語教育における小中連携について、今後の方向性を見いだすことができた。

(2) 課題

- ① 小学校英語から中学校英語へのスムーズな移行ができるよう、それぞれの教科書、学習指導要領等に目を通し、内容を把握した上で授業づくりを行う必要がある。
- ② 最低でも学期に1度、小中英語担当教員で情報交換をし、連携しながら進めていく必要がある。
- ③ 英語科教員の指導力、授業力の向上に向けた研修を継続させる必要がある。